

NADPZ NEWSLETTER

May/June/ July/ August 2024



自然農法会議がムババラの農民たちを旱魃の中で結束させた

2024年8月14日から16日までの日程で自然農法会議が開催され、ムババラの8つの農民組合から農家たちが集まりました。この2日間のイベントは、レジリエンス（回復力）、知識共有、そして進行中の旱魃危機への解決策に焦点を当てたものでした。

合計200人の農家（経験豊富なメンバー100人と新メンバー100人）が、貴重な自然農法の技術を交換し、国全体に影響を与えている破壊的な旱魃への対処戦略を議論しました。川床が乾き上がり、井戸が機能しなくなる中、水へのアクセスがますます困難になり、多くの農家が作物の維持に苦労しています。

この作付けシーズンは特に厳しく、多くの農家が何も収穫できない状況にあります。この状況は無数の家族を飢餓に直面させており、革新的な解決策の必要性をさらに緊急なものにしています。これらの困難にもかかわらず、自然農法のメンバーは知識の共有と地域社会の食糧安全保障を確保するという決意を持って動じません。

会議では、自然農法のリーダーや成功したデモ農家が新メンバーを訓練し、20年にわたって自然農法の知恵を保持して来ました。農家は、トウモロコシやピーナッツの種子など、わずかなものを交換することで、困難な状況に直面しても協力の精神を示しました。また、この困難な時期に野生の野菜や根を代替食品源として利用することについても議論が行われました。

真の自然農法の伝統に則り、このイベントは農業だけでなく、文化やコミュニティの祝賀も行われました。農家は一緒にキャンプをし、歌やダンス、料理を楽しみながら、持続可能な未来に向けて団結と希望を育みました。



旱魃と飢餓に直面するなかで農家を支える

ザンビアは心を痛める危機に直面しています。何百万もの家族が、気候変動と手強いエルニーニョによって激化された壊滅的な旱魃により、飢餓、栄養不良、そして極端な水不足と戦っています。国の作物の半分が失われ、かつては地域社会に食糧を提供していた農家も、現在は自分たちの家族を養うことに苦勞しています。多くの人にとって、次の収穫は手が届かないほど遠く、まだ12ヶ月もの長く不確かな時間が残されています。

ザンビアの116の地区のうち84地区では、土地が砂塵に変わりました。100万以上の農家がこの災害の影響を受け、政府は国家緊急事態を宣言せざるを得ませんでした。しかし、これはザンビアにとっての一連の悲劇の最新章に過ぎません。国がこれまでで最悪のコレラ流行から回復し始めたところ-700人以上の命を奪った-洪水が襲い、その後に壊滅的な旱魃が続きました。今では、今年の貧弱な収穫から残ったわずかな食料と、エルニーニョが未来の作物への脆弱な希望を打ち砕く中で、家族は絶望しています。食料援助、清潔な水、そして思いやりが今まで以上に緊急に必要とされています。



この苦難の中でも、希望は失われていません。ザンビア自然農法計画（NADPZ）は秀明インターナショナルと共に、ザンビアの自然農法（NA）農家を支えるために前進しました。最近のNA会議では、200の農家にそれぞれ5kgのトウモロコシの貴重な贈り物が与えられました。小さな行動ではありますが、これはこれからの厳しい月を乗り切るためにこれらの家族を助ける大きな使命の第一歩です。

次の6ヶ月で、私たちの目標は1,000の農家に到達し、食料だけでなく生命線を提供することです。このような時期には、最小のジェスチャーも大きな重みを持ちます。自然農法の一員として、私たちは団結の力、最も暗い時にお互いを支える力を信じています。私たちは農家を見捨てません。



ザンビアは危機にある国だけではありません。それは土地と愛する人々を支えるために疲れ知らずに働く人々の家です。今日、彼らは私たちの助けを必要としており、私たちは彼らのためにそこに決意をしています。今日、明日、そして彼らが再び強く立ち上がるまで。



私たちの体は食べものから成り立ち、私たちは自分たちが育てるものを食べます

NADPZでは、「私たちの体は食べものから成り立ち、私たちは自分たちが育てるものを食べます」という指導原則を持っています。このモットーは私たちのミッションの本質を表しており、この知識を将来の世代に伝えることへの決意を現しています。



毎年、農家は広大な土地で作物を栽培するという課題に直面していますが、これはしばしば早魃、極端な気温、洪水によって妨げられます。カベタ職業訓練センターでは、自然農法の野菜園を通じてこれらの課題を克服することに専念しています。生徒たちは、技術的な木工と縫製訓練と共に包括的なカリキュラムの一環として、この実践的な自然農法体験に参加します。



私たちの野菜園は二つの目的を果たしています。それは生徒たちを将来の園芸活動に備えさせるとともに、センターの寄宿施設での1年間滞在中の重要な食料源を提供します。実践的な経験だけでなく、これらの庭は希望と回復力を植え付け、生徒たちが家族を支え、生計を確保するためのスキルを身につけるのに役立ちます。



将来を築く：ムババラプロジェクトが地域開発に果たす役割

インフラ整備は繁栄し相互接続された世界を形作るために重要です。NADPZでは、今日正しいインフラに投資することが、明るい未来への道を築くと信じています。この決意は、ムババラプロジェクトの現場を自然農法とコミュニティ生活の両方の基盤として発展させるために継続的な努力がなされていることに現われています。

ムババラプロジェクトのビジョンは単なる施設拡張ではありません。私たちは、この場所を自然農法のメンバーだけでなく周囲のコミュニティにもサービスを提供する活気に満ちたハブとなること目指して努力しています。その実現のために、私たちは今重要なプロジェクトを行っています: 成長計画に不可欠な20,000個のレンガの作成です。

今後の拡張には、新しい職業訓練センターの教室と男子寮の建設が含まれます。入学希望者が増加し続ける中で、これらの新しい施設は、増え続ける生徒数を収容し、最高の教育環境を提供するために重要です。

これらの主要施設に加えて、レンガは追加のトイレやその他の必須アメニティの建設に使用されます。これらの強化は、生徒たちとより広いコミュニティの両方に利益をもたらすよう設計されており、インフラが幅広いニーズと活動をサポートすることを保証します。



私たちの目標は、現在の要求を満たすだけでなく、将来のニーズを視野に入れて施設を作ることです。包括的なインフラ開発に焦点を当てることで、持続的な成長と成功を支える基盤を築くことを目指しています。ムババラプロジェクトの現場は、教育、地域交流、そして開発が一体となった場所として想定しています。

これらの計画を進めるにあたり、私たちは繋がりを持って繁栄する環境を育てるという使命に専念し続けます。今日構築するインフラは、将来の成果の基盤となり、自然農法メンバーと地域社会を支援し、今後長年にわたって共鳴する方法でサポートします。

これからの可能性にわくわくしており、ムババラプロジェクトが進化し続けるにつれて、さらなる進展を皆さんと共有するのを楽しみにしています。私たちは単に構造物を建設しているだけでなく、繁栄し相互接続された未来の基盤を築いています。



種子を通じて希望を復活させる：自然農法の更新の灯台

農業の領域において、種子は新しい始まりの約束を象徴します。ムババラ、ペンバ、チカンタ、ムンブワにいる私たちの自然農法のメンバーにとって、この約束は現実のものとなり、自然農法における希望を再燃させ、努力を活性化させています。

2023/2024年の厳しい旱魃の深刻な影響を部分的に回避した幸運な地区であるチパタは、本年一部の畑で収穫を得ることができました。チパタを恵んだ雨は、農家が作物を栽培し収集することを可能にし、それは単なる安堵以上のものです。それは他の地域にとって希望の灯台なのです。

最近、自然農法の実践者の仲間入りをしたチパタの農家は、より大きな使命において重要なプレイヤーとして浮上しています。彼らは、ムババラ、ペンバ、カロマ、ムンブワを含む、重大な課題に直面しているいくつかの地域でシードバンクを再活性化するための変革的な取り組みの中心となっています。



チパタからルサカへ自然農法（NA）種子50kgが入った13袋を輸送し、そこから、これらの種子は4つの主要な自然農法センターに配布されます。これらのセンターは次に、種子を130軒の自然農法デモ農家に渡します。これらの農家は、2024/2025年の雨季に向けて種子を使用し、過去二十年間献身的に育てられた自然農法シードバンクの復元と拡張に向けた重要なステップを踏み出します。

この取り組みは、チパタの農家の回復力と寛大さを際立たせるだけでなく、私たちの農業コミュニティの相互接続性を強調します。ムババラでNA種子を元の土壌に戻すことで、

この共同努力は、団結と協力の力の証として機能します。一緒に協力することで障害を克服し、進歩を推進する方法を示しています。前進するにあたり、蒔かれた各種子がすべてにとってより持続可能で希望に満ちた未来への一歩であることを覚えておきましょう。

共に、私たちは課題に取り組み、成功を育てることができます。種子とそれを育むコミュニティが私たちの共有するビジョンにもたらす新たな希望に乾杯です。